

<研究名称>

偶発胆嚢癌患者における臨床病理学的因子と生命予後との関連についての検討

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 外科 栗原 尚太

実施担当者 外科 石堂敬太、青木佑磨、山本和幸、東海林安人、市村龍之助、

真名瀬博人

呼吸器外科 福永亮朗

<研究期間>

実施許可日～2025年3月31日

<診療・研究の目的>

偶発胆嚢癌は癌遺残の可能性があるため、原発巣の進展状況に応じて、本来行うべき切除、リンパ節郭清の追加が推奨されている。本検討では、当院で手術を施行した偶発胆嚢癌患者の臨床病理学的因子と生命予後との関連を明らかにし、生命予後向上のための至適術式や術後補助化学療法について考察することを目的とする

<実施内容（方法）>

2005年1月から2024年1月までに術前に胆嚢良性疾患と診断され胆嚢摘出術を施行し、術後の病理組織学的検査にて胆嚢癌と診断された偶発胆嚢癌患者を対象とする

<危険性（副作用）等>

特になし

<倫理上問題になると考えられる事項>

特になし

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 外科 栗原 尚太 TEL：0166-22-8111、FAX：0166-24-4648